一般社団法人小樽観光協会 公式サイトリニューアル業務　仕様書

1　業務名

一般社団法人小樽観光協会公式サイトリニューアル業務

2　目的

一般社団法人小樽観光協会（以下「当協会」という。）が運営する公式サイト「おたるぽーたる」（https://www.otaru.gr.jp/）を現在の WEB 利用環境に適応させる形で再構築し、小樽市の観光情報を魅力的かつ効果的に発信するだけでなく、閲覧者の来訪意欲を喚起させる情報を提案することで、来訪者の増加と周遊促進を目的とするものである。特に、SNS や生成 AI 等インターネット上の情報収集環境が大きく変化する現状を踏まえ、それらの環境に対応したものであることはもちろん、各種生成 AI が参照するために必要な要素を盛り込み、ディスティネーションとしての小樽を発信するために必要な基盤整備を行う。また、本業務では、約 3 か月での新サイト公開（Phase 1）を最優先としつつ、公開後の継続的なコンテンツ拡充・改善（Phase 2）までを一体的に推進することとする。

3　契約期間

契約締結日の翌日から令和 9 年 3 月 31 日まで

4　著作権等について

本業務で構築する公式サイトのドメイン（otaru.gr.jp）、コンテンツ及び各種データの著作権及び所有権は、当協会に帰属し、委託者はこれを管理運営する立場とする。したがって、公式サイトで発信する情報は小樽市の公式観光情報である事に留意すること。また、受託者との権利関係の都合上、権利が帰属させられない場合でも、公式サイト運営期間は当協会が無償での使用許諾を得たものとして扱う。

5　対象ホームページ

おたるぽーたる（ https://otaru.gr.jp/ ）
※対応言語：日本語

6　現状の課題と提案を求めるポイント

UI/UX・導線の抜本的刷新による離脱防止（公開時必須）	サイトレイアウトを整理し、旅行者が直感的に目的情報へ到達できる導線を構築する。
表示速度（Core Web Vitals）とセキュリティの抜本改善（公開時必須）	LCP（最大コンテンツの描画）等の表示速度を Google 推奨基準（2.5 秒以内）にて維持し、スマートフォンユーザーのストレス・離脱を解消する。
膨大な過去コンテンツのルールベース整理（公開時必須）	約 1 万件以上存在する過去記事・期限切れ情報を一定の自動基準で整理・アーカイブ化し、検索評価の高い既存資産（体験コンテンツ、ウェブマガジン、モデルコース等）の SEO 評価を 301 リダイレクトで確実に継承する。
「旅マエ」潜在層へのリーチ拡大と資産記事リライト（公開後順次拡充）	「小樽 ○○」のローカル検索に加え、広域・計画段階（北海道旅行・2 泊 3 日・周遊・季節テーマ等）の検索流入を獲得するため、公開後に重要記事のリライトおよび新規特集・マップ制作を順次展開する。
データドリブンな運用・改善サイクルの確立（公開時基盤構築→公開後運用）	GA4・Google Search Console・Microsoft Clarity 等の計測環境と KPI を整備し、LTV（リピーター育成）および会員事業者への送客効果を可視化・改善できる体制を構築する。

7　業務内容：公式サイトのリニューアル

・サイト全体の設計・構築
・CMS の選定・導入・設定
・既存コンテンツの移行（移行計画は受託者が作成し当協会が承認する方式とする）
・新規コンテンツの制作（撮影・取材・記事制作を含む）
・SEO・AI 検索対応の実装
・GA4・Google Search Console・MS Clality 等の計測環境構築
・操作マニュアル・運用マニュアルの作成、職員向け操作研修の実施
・サイトローンチ後の初期保守対応（令和 10 年 3 月末まで）

8　サイトリニューアルにかかる各種要件

（1）エンゲージメント及び回遊率の向上

サイト利用者のカスタマージャーニーに応じて様々な情報を閲覧させ、満足度を高めることを目的に下記項目を実施すること。

・ホームページ内の動線を整理・見直すこと。
・レイアウトを整理し、閲覧性を向上すること。
・ホームページ内でページ間の誘導を促す構成にすること。

（2）CMS 要件

ｱ）基本方針

・ヘッドレス CMS または同等のセキュリティ・運用性・拡張性を確保できる代替案がある場合は、理由を付して提案すること。
・CMS の選定は受託者が提案し、当協会が承認する方式とする。

ｲ）機能要件

・DMO 職員が HTML の専門知識なく直感的に操作できる管理画面
・権限管理機能（担当者ごとの更新権限・承認フローの設定）
・下書き保存・プレビュー機能、公開日時の予約設定機能、コンテンツのバージョン管理
・画像のアップロード・差し替え・WebP 自動変換
・複数ユーザーの同時ログイン・作業
・有料バナー広告枠の管理（バナー画像・リンク先・掲載期間の設定、掲載開始・終了の自動制御）
・問い合わせフォームの作成・管理機能（スパム対策を含む）

ｳ）セキュリティ要件

・管理画面への IP 制限・二段階認証等のアクセス制限
・ログイン試行回数制限・アカウントロック機能

ｴ）拡張性

・将来の多言語対応（言語切替・翻訳管理）に対応可能な設計とすること
・外部システム（予約・チケット・決済等）との連携が将来可能な設計とすること
・AI 旅程生成機能等の将来拡張を見据えたデータ構造とすること
・リニューアル後のシステム改修費・運用コストを抑制するため、標準機能を活用した構成とし、過度なカスタマイズを避ける設計思想・考え方を提案すること

（3）コンテンツ移行・制作要件

・移行対象は現行コンテンツを前提とするが、リニューアル後のサイトにおいては、施設店舗ごとの詳細情報の掲載は予定しない。
・案内所ブログや観光協会からのお知らせ、ウェブマガジン等の過去記事については、整理・アーカイブ化を進める

（4）SEO・AI 検索対応要件

従来の SEO 対策に加えて、生成 AI による情報参照機能を重視し、構造化データの付与、見出し構成の整理、テキストデータの再編集等、効果的な対策を講じること。なお、具体的な構造化データの種類やリライト方針については受託者が提案し、委託者と協議した上で決定するものとする。

ｱ） 技術的 SEO 対策

・構造化データのマークアップを行うこと
・title タグ・meta description タグのページ単位での設定
・見出し構造（h1〜h4）の適切な設定
・XML サイトマップの自動生成
・OGP（SNS 共有用のタグ）の設定
・既存ページの SEO 評価の引き継ぎ（URL が変わる場合の 301 リダイレクト設計）

ｲ） AI 検索対応（AEO/LLMO）

・FAQ 形式を含む AI 検索エンジンに参照されやすい情報設計の実装

（5）データ・分析・KPI 要件

ｱ） 計測環境の構築

・GA4 の導入・設定を行うこと（コンバージョン設定・カスタムイベントの設定を含む）
・Google Search Console への登録・サイトマップの送信
・GTM（Google Tag Manager）を使用したタグ管理体制の構築
・Microsoft Clality の導入・設定を行うこと
・計測環境の設定完了後、当協会担当者に対して運用方法の説明を行うこと

ｲ) KPI の設定

・サイトリニューアルの成果を把握するため、事業目的との整合性を踏まえた KPI を設定すること
・指標の例：オーガニック流入数、サイト回遊率、コンバージョン（宿泊・体験ページへの送客数、ガイド予約数等)、滞在時間等
・各指標の定義・測定方法・目標値の考え方を提案書に明示すること

ｳ）レポート・改善サイクルの提出

（6）ドメイン・サーバ環境要件

・現行ドメイン（otaru.gr.jp）を継続使用すること。主要ページの URL は可能な限り維持し、変更が必要な場合は 301 リダイレクト等により適切に引き継ぐこと
・現行環境からのドメイン移管・DNS 切替作業は本業務の範囲に含むものとし、移管に伴うサイト停止・メール不達等のリスクを最小限に抑える対策を講じること
・新サイトに必要となるサーバー環境は受託者が手配し、構築・運用・保守に係る費用を見積書に明示すること
・サーバー環境は継続的な安定稼働を前提とし、定期的なバックアップ・障害対策等の安全対策を講じた構成とすること

（7）セキュリティ要件

・常時 SSL（HTTPS）対応を必須とする
・不正アクセス・情報改ざんへの対策を講じること
・代表的な脆弱性への対策を実施すること
・OS・CMS 等における脆弱性情報を把握し、必要なアップデート及び対策を継続的に講じること
・定期的なバックアップを実施すること（バックアップ頻度・保管期間・保管場所を見積書・提案書に明示すること）

・障害発生時の目標復旧時間（RTO）及び復旧手順を提案書に示すこと
・インシデント発生時には、影響範囲の特定、応急対応、再発防止策の検討を行い、速やかに当協会へ報告すること。報告体制を含む対応フローを事前に整備すること

（8）運用・保守要件

ｱ） 保守範囲
・CMS のバージョンアップ・セキュリティパッチの適用
・サーバ・インフラの保守・監視
・軽微な修正対応（テキスト変更・画像差し替え等、当協会からの依頼に基づくもの）
・障害発生時の一次対応・復旧対応
・上記の年間対応時間の上限を見積書に明示すること

ｲ） 費用の明示
・年間保守費用の内訳（サーバ費・CMS 利用料・保守作業費・その他）を見積書に明示すること
・令和 9 年度以降の年間運用保守費の見込み額は、初期構築費とは別に記載すること

（9）その他

・令和 9 年 3 月 31 日までに Phase1 業務を完了させ、リニューアルサイトを開設すること。
・サイトリニューアル開設後 1 年間に生じた本業務に起因する不具合対応も本業務に含むものとし、無償で対応すること。

9　業務の範囲

区分	対象業務	具体的な実施内容・完了基準
Phase 1 公開日 2027 年 3 月末までにやる範囲	① サイト基盤設計・構築 ② CMS 導入・設定 ③ 既存データのルール移行 ④ 最低限の必須ページ整備 ⑤ 速度・SEO・計測基盤構築 ⑥ 操作マニュアル・研修	・情報設計（IA）、UI/UX デザイン（トップ＋主要テンプレート群）、レスポンシブ実装 ・CMS 構築（権限管理、予約公開、WebP 自動変換、広告枠制御、期限切れ自動非公開） ・1 万件超の過去記事の一括ルール移行（直近記事・主要スポット/店舗データの移行、古いお知らせ等のアーカイブ化）および 301 リダイレクト設定 ・Google マップ経路連携付きアクセスページ、事業者向け専用入口の構築 ・Core Web Vitals（LCP 2.5 秒以内）達成、構造化データ・基本 SEO/AIO 実装 ・GA4 / GSC / GTM / Microsoft Clarity の初期設定、基本操作マニュアル作成・職員研修
Phase 2	① 既存人気記事のリライト ② 新規特集・マップ制作 ③ フォトライブラリ再構築 ④ アクセス解析・改善提案 ⑤ 初期保守・運用サポート	・アクセス上位の既存記事や季節モデルコース等の優先順位付けと順次リライト ・道外客向け「広域・狭域イラストマップ」 ・数値レポート（四半期）および改善提案レポート（半期：リライト対象特定・UI 改善案）の提出と実装 ・システム・サーバ保守監視、軽微な修正対応、運用ガイドライン（トンマナ規定）の定着支援
今回対象外 次年度以降検討	① 多言語サイト全面刷新 ② 外部基幹システム連携	・Visit Otaru 等の多言語サイト全面翻訳・刷新 ・CRM 基盤

１０　著作権の帰属

・本業務により作成された成果物（文章・写真・動画・デザイン・ソースコード等）に係る著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に定める権利を含む。）は、成果物の引渡し時に受託者から当協会へ無償で譲渡されるものとする
・当協会は、成果物について、目的の範囲内において自由に使用、複製、編集、翻案、公衆送信等を行うことができるものとする
・受託者は、成果物に関して著作者人格権を行使しないものとする
・受託者が従前から保有するプログラム、システム、テンプレート、ノウハウ等（ヘッドレス CMS 等の第三者製品を含む）については本項の対象外とし、その権利は受託者又は当該権利者に帰属するものとする
・第三者が権利を有する画像、動画、素材等を使用する場合は、当協会が本業務の目的の範囲内で継続して使用できるよう、受託者が必要な利用許諾を得ること
・成果物に第三者の著作権その他の権利を侵害するものが含まれないよう十分留意し、万一、第三者との間に権利侵害等の紛争が生じた場合は、受託者の責任においてこれを解決するものとする

１１　納品物

納品物	内容・備考
基本設計書	サイト構成・機能設計・CMS 設計・システム構成図等
詳細設計書	画面設計書・API 設計書・データ設計書等
ソースコード一式	フロントエンド・バックエンドのコード
デザインデータ一式	トップページ・下層ページ等のデザイン元データ（Figma 等の編集可能な形式）
コンテンツデータ一式	本業務で制作・移行したテキスト・画像・動画等の素材データ
CMS 操作マニュアル	DMO 職員が日常業務で使用することを前提とした操作手順書
保守運用マニュアル	保守手順・緊急時対応手順・体制を含む
テスト結果報告書	機能テスト・表示確認の結果を含む
アナリティクス設定完了報告書	設定内容・コンバージョン設定・操作説明
コンテンツ移行計画書	移行対象・非移行対象・新規制作の区分と進行スケジュール
業務完了報告書	制作過程・対応内容等の総括

１２　再委託

受託者は業務のすべてを再委託することはできない。ただし業務の一部については事前に委託者の承認を得たうえで再委託可能とする。

１３　その他

・本仕様書に定められていない事項については、双方で協議の上、委託者が決定する。
・業務遂行にあたり、作業方法及び進捗状況については委託者担当職員に適宜報告すること。
・契約の履行にあたり、個人情報取扱特記事項を遵守すること。

以上